



みなさんの暮らしと  
つながっています。

Vol.65

令和4年(2022年)

5月1日発行

# はまた 議会だより

## 主な記事

- 3月定例会議のポイント…………… 2・3  
市民対談 (小松原 修さん) …… 12・13  
委員会活動レポート…………… 14



# 3月定例会議

## 今回はこれがポイント!

### 令和4年度一般会計予算395億2千万円を慎重審議し可決!

3月定例会議では、市長から「若者対策」、「協働のまちづくりの推進」の重点項目を含む施政方針が示されました。それに対して、各会派からの代表質問、個人一般質問で考え方などをいただきました。予算決算委員会では、734事業ある令和4年度一般会計をはじめ、上下水道事業などの公営企業会計や国民健康保険などの特別会計の予算について審査しました。また、追加提案された令和4年度補正予算には、新型コロナウイルス感染症対策として、防災情報配信システム導入事業やプレミアム付「はまだ応援チケット」発行事業、小中学校校舎トイレ洋式化事業、二十歳の集いの延期に伴う補助事業などが含まれています。提案された全ての議案は可決しました。以下に議会の視点とともに注目した10の事業を紹介します。



#### 定住促進

### 音楽を核とした定住促進事業

事業費: 1,956万円

人口の急減対策として地域おこし協力隊制度を活用し、Uターン者が活躍できる場を創出し、若者層の定住促進及び地域活性化を図る。

着眼点

- 令和3年から始まった事業で、事業開始時に立ち上げられた特定地域づくり事業協同組合（Biz. Coop.はまだ）へのみ支援補助を行っている。
- 事業（組合加入）はUターン者が対象で、過去に定住した方々は対象外であるが、組合と採用基準を検討していくとのこと。



#### 公共施設整備

### 石見まちづくりセンター(仮称)長沢サブセンター整備事業

事業費: 3億9,400万円

市内で最も世帯数が多く面積が広い長沢町周辺において、まちづくりの拠点整備を行うもの。

着眼点

- 長年、地元住民からも要望が出されていた。
- 地域住民同士の集う機会が増えることにより、地域のまちづくりが進むことに期待。
- 集まりやすさ、避難経路の確保の観点から指摘が多くなされた。その整理を求める附帯決議を提出。



#### 防災安全

### 防災備蓄倉庫整備事業

事業費: 4,608万円

老朽化した備蓄倉庫に代わり、感染症対策資材などの備蓄物資や、災害時の支援物資を受け入れできる、延床面積約200平方メートルの倉庫を浜田市総合福祉センター周辺に建設する。

着眼点

- 効率的な活用が期待できるよう、倉庫内は物資によって棚の配置や動線を考慮する。
- 資材運搬路は緊急輸送道路に連絡し、災害時には優先して通行を確保される。
- 近くの島根県立大学にはヘリポートがあり、防災の観点から有効な位置にある。



#### 医療対策

### 浜田医療センター附属看護学校支援事業

事業費: 1,000万円

県西部の中心的な看護師養成機関である浜田医療センター附属看護学校を支援することにより、浜田圏域の看護人材の育成と確保を図る。

着眼点

- 附属看護学校は近隣地域の高校生を中心に募集定員を超える入学があり、看護師を目指す若者の大切な進学先となっている。
- 卒業後、半数以上が浜田医療センターへ就職しており、同センターを含め県西部都市部の看護師確保に大きく貢献している。



### 地球温暖化対策

## 地域の再エネ 導入支援事業

事業費:580万円

浜田市でのカーボンニュートラルに向けた取組を推進するため、島根県の補助金に浜田市が上乘せして導入支援を行うことで、家庭や企業での再生可能エネルギー導入を推進し温室効果ガスの排出量の削減を図る。

着眼点

- ・浜田市の補助制度であることから、施工業者は市内事業者に限定するが、普及率にどう影響するか今後も注視していく。
- ・この事業をきっかけに太陽光発電や蓄電池以外の再生可能エネルギーも普及していくことに期待。



### 公共施設整備

## ふるさと体験村 維持管理事業

事業費:3,244万円

平成30年度から休止している体験村施設を令和5年4月から弥栄地区の住民組織が運営していくことを見据え、施設を改修する。

着眼点

- ・平成30年度に浜田市が運営したが、数カ月で運営停止となった経緯がある。
- ・再開後は従来の運営方法ではなく、過去の失敗を改善し、新たな取組や工夫が求められる。
- ・自然豊かな環境を生かし、弥栄地区ならではの体験ができる施設として市内外から多くの方々を訪れる施設となることに期待。



### 観光交流

## 美肌観光 推進事業

事業費:445万円

美又温泉ならびに旭温泉を核として、美肌資源のパッケージ化、旅行企画商品の造成及び新規商品企画などを推進し、中山間地域への誘客を図る。

着眼点

- ・温泉総選挙2021の部門賞「うる肌部門」で日本一となった美又温泉を生かす。
- ・温泉の特徴や医学的根拠を生かした美肌関連の観光や食材、体験メニューの検討が急務。
- ・交流人口の掘り起こしにより中山間地域の活性化が期待される。



### 公共施設整備

## 公園環境整備 対策事業

事業費:5,760万円

今まで身近で小規模な公園の老朽化した遊具については、国からの交付金の対象にならないことから使用禁止としてきた。今年度、ふるさと応援基金を使い、3カ年計画で子どもが安心して遊べる環境を整備する。

着眼点

- ・老朽化した遊具の更新以外に、利用者の声が反映され、古い遊具から時代に応じた遊具の設置などがどこまで図られるか注視。
- ・公園が整備されることで子育て支援につながることに期待。

R3  
補正



### 地域連携

## リハビリテーション カレッジ島根 経営改善支援事業

事業費:1億円

リハビリテーションカレッジ島根の経営安定化・健全化を図るため、運営資金を一部補助。

着眼点

- ・近年学校法人は経営的に大変厳しい状況の中、リハビリ人材の育成機関として、地元の経済効果なども踏まえ必要性を判断。
- ・学校経営の経験が豊富な法人などから指導を受け、教育及び経営の改善が図られる。
- ・事業及び学校経営の抜本的な見直しを求め、当該校の専門的知見や人材が一層活用されるよう連携強化に努める旨の附帯決議を提出。

R3  
補正



### 都市整備

## 浜田駅周辺 整備事業

事業費:6億1,300万円

JR浜田駅西側にある君市踏切の移設・拡幅に伴う工事を行う。

着眼点

- ・工事費が大幅に増額。JRが工事を詳細設計した結果、移設が必要な線路や信号が増えた。
- ・増額の報告が遅れた理由は、少しでも金額を下げる気持ちはあった事やJRがコロナ禍で工事の精査が十分にできず、金額の確定ができなかったことが挙げられた。
- ・事業費のさらなる圧縮と、可能な限り市内事業者への発注に努める旨の附帯決議を提出。



# 議案等の賛否の公開

1月臨時会議で賛否が分かれた議案はありませんでした。3月定例会議で賛否が分かれた議案は以下のとおりです。各議員の賛否や反対理由、請願・陳情審査結果などの詳細は、市議会ホームページをご覧ください。

令和4年1月 ●臨時会議● 市長提出議案2件

令和4年3月 ●定例会議● 市長提出議案38件（1件撤回）、議会提出議案4件

| 議案番号   | 議案名  | 賛成 | 反対         |
|--------|--|----|------------|
| 議案第38号 | 令和3年度浜田市一般会計補正予算（第14号）   | 20 | 1 川上       |
| 発議第3号  | 議案第38号 令和3年度浜田市一般会計補正予算（第14号）及び<br>議案第24号 令和4年度浜田市一般会計予算に対する附帯決議について | 18 | 3 岡本、芦谷、牛尾 |

請願・陳情について審査しました 請願3件 陳情15件

| 請願の内容                                    | 提出者   | 結果       |
|--|---|----------|
| 精神保健医療福祉の改善に関する意見書の提出について                | 石見地区労働組合協議会<br>議長 佐々木 和敏<br>浜田市港町                         | 採択（全会一致） |
| 地方における鉄道政策に関する請願について                     | 国鉄労働組合米子地方本部<br>執行委員長 倉下 文明<br>鳥取県米子市道笑町                  | 採択（全会一致） |
| 子育て支援センター「すくすく」の跡地を公園として整備することを求める請願について | すくすく球友会 代表 佐藤 仁<br>外ノ浦・松原まちづくり推進委員会<br>代表 牛尾 博美<br>浜田市松原町 | 継続審査     |

## SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

浜田市議会はSDGs（持続可能な開発目標）を推進しています。



# 市政を問う

4会派が  
会派代表質問  
17人が  
個人一般質問

こちらから動画をご覧ください。



## 私たちの会派はこんな会派です

### さんすい かい 山水海

現在9名の最大会派です。自らヒト・コト・モノを産み育てていく力「とりわけ一次産業」と、隣人との助け合い「コミュニティ」を重視しています。

### ちょうとう 超党みらい

広域的かつ多角的な視点を持ちながら、市民の幅広い意見を反映させ、少数意見に対しても真摯に受け止め、市民ファーストでの政策提言をする会派です。

### そうふう かい 創風会

私たちは「是々非々」を掲げ、市民目線で議会活動に取り組む会派です。会派は5人と少数ですがベテランから新人とバランス良く、市政に対して、問題には鋭くメスを入れ、市民の皆さまにお応えします。

### こうめい 公明クラブ

佐々木と柳楽の2人会派です。公明党の立党精神「大衆とともに」をモットーに、市民に寄り添い、小さな声を大切にして、政策提案などを行っています。今年も年頭から、政策に反映させるアンケート活動を広く展開しています。

山水海  
9名

代表 串崎 利行

村木 勝也・三浦 大紀・沖田 真治  
足立 豪・村武 まゆみ・上野 茂  
笹田 卓・永見 利久

「元気な浜田」には  
一次産業の振興が鍵



串崎 利行

**Q** 浜田市の基幹産業である水産業を取り巻く環境は依然厳しく、多くの課題を抱えており、持続可能な漁業に向けた市の役割は。  
**A** 水産浜田の再生には、水揚げ確保・増大対策として、新船建造などによる地元漁船の存続は必要不可欠である。また、担い手確保対策・浜田漁港周辺エリア活性化・販路拡大対策・漁業資源確保対策に取組む必要がある。

**Q** どんちっちブランドの販路拡大における官民連携をさらに促進すべきでは。  
**A** 現在、推進組織が設立され、生産から流通・小売に携わる事業者と行政が一体となつて取組を進めている。また、「浜田港四季のお魚」として選定し、多様な水産物が水揚げされる浜田漁港

の魅力化を官民で連携して取組む。  
**Q** 今年の米価下落により、市全域の農業経営は非常に厳しい状況に追い込まれ、米依存からの脱却も求められている。もうかる農業を目指すべきで、生産から加工・販売までの6次産業の取組が極めて重要と考えるがどうか。  
**A** 各農業経営体の米、野菜、果樹、シイタケなどの取組に、活性化が図られるよう連携に努める。また、事業者との共同研究により機能性表示食品の取得も含めた商品開発を目指す。

**Q** 森林保有者の高齢化、不在化による山離れが深刻な問題となつており、森林が本来持つ機能として地球温暖化・土砂災害防止機能を発揮するため整備・育成が求められている。森林環境譲与税の有効活用を。  
**A** 森林環境譲与税を有効に活用するため、「浜田市豊かな森づくり推進協議会」の中で事業内容を審査し、林業の活性化に向けて取組む。

超党  
みらい  
6名

代表 布施 賢司

大谷 学・小川 稔宏・岡本 正友  
芦谷 英夫・牛尾 昭

市民生活を守り、  
地域経済を支える取組に全力を!



布施 賢司

**Q** 依然、コロナ禍で経済活動、市民生活、文化活動、子育て、福祉などが疲弊している。これまでの支援に漏れはないか、幅広く意見を聴いてスピード感を持つための支援策を打ち出す必要があるのではないか。  
**A** これまで10弾にわたる独自支援策を講じてきたがこの度、プレミアム付き「はまだ応援チケット」をはじめとする支援策、第11弾を取りまとめた。必要な支援策について迅速に対応していく。

**Q** 持続可能な水産業を守るためにも、老朽化した底びき船の新船建造は必要不可欠ではないか。  
**A** 漁業を存続していただくためにも、関係団体と行政が一体となつて、国に働き掛けている。

**Q** 有害鳥獣の被害防止対策として、狩猟者育成の研修センターの設置は必要ではないか。  
**A** 新たな有害鳥獣捕獲研修センターの設置は難しいが、既存の施設を有効活用しながら、狩猟者人材の育成に取組む。

**Q** 商店街支援のため、浜田市版「楽市・楽座」を複数箇所、定期開催できるように側面支援するべきでは。  
**A** にぎわい創出のために、側面支援していく。  
**Q** 浜田沖天然ガス試掘調査に対する期待は。  
**A** ハードルが高いと認識しているが、天然ガスが事業化されれば、浜田市とこの圏域全体の経済発展につながるかと期待している。  
**Q** 職務に専念できる労働環境がなくては、良質な市民サービスの提供はできない。職員のメンタル健康管理は適切に管理されているのか。  
**A** 時間外勤務は各所属長において適切に管理している。心身の疲労が心配される職員には、個別に産業医や保健師による面談を実施している。

## 創風会 5名

代表 川上 幾雄

肥後 孝俊・田畑 敬二・西田 清久  
川神 裕司

## 危険空き家対策等へ 十分な支援を



川上 幾雄

Q 現在の助成、敷地の有効利用、予算の拡充については理解できる。しかし、空家対策協議会において市長

の早期解消に努める。

Q 定住環境づくりの推進として空き家バンク物件の改修費助成などを示されている。市街地の空き家は今後増加する傾向にあることは明らかであり、空き家バンクのみならず、危険空き家対策などへ支援する必要があると思われる。考えを問う。

A 危険空き家対策としては、危険空き家除却工事費の補助事業や、市が危険空き家を解体後、その敷地を市道の一部やポケットパーク(小さな公園)として有効活用している。このうち、危険

空き家除却工事費の補助は予算を拡充し、危険空き家の早期解消に努める。

は、「一度消えたアスベスト対策予算を復活させる」との発言をなされた。予算のさらなる拡充とアスベストに関して所見を問う。

A アスベスト除去助成に関しては申請実績がなく、平成23年で廃止したが、空家対策協議会において処理費が負担となっているとの意見があり、今後建物の解体に伴うアスベスト除去に対して、国の制度も活用して創設に向けて取組みたい。

Q アスベストに関して、昭和36年ごろから平成18年以前に建築された建物が必要注意と言われている。市街地に存在する建物にも、対象年代に建築されたビルが多い。どのような建物を対象に、アスベスト対策予算を執行するのか。

A アスベストに関しては高度成長期・平成18年度近くまでは使われていたのと。まずは近々の課題から思っていることから、令和4年度において国・県とも協議する中で制度に向けて前向きに支援制度をつくりたい。

## 公明 クラブ 2名

代表 佐々木 豊治

柳楽 真智子

## コロナ禍を耐え我慢の連続 だった子どもたちに激励を!



佐々木 豊治

Q コロナ禍が長期化し、行事の中止や活動の自粛のほか、一生のうち今しかできない体験もできないなど、コロナ禍を耐え、我慢の連続だった子どもたちに、卒業式などに併せ特別な教育長メッセージを発信してほしいと思うがどうか。

A 教育長として、この機会にケーブルテレビを通じて思いを伝えたい。今回、学校の行事中止や休業によって、活動が制限され、子どもたちは苦しい思いをしてきたと思う。でもそのことが感染の拡大予防につながり、社会貢献をしてくれたと思っており、改めて感謝している。また、いろいろなことを我慢した経験はこれから必ず生きてくる。思うようにならないことや苦しいことに耐える力が身に

ついたと思うので、これからの成長に生かしてほしい。このことは校長先生からも話してもらおうようにしたい。

Q コロナの影響で、学校や保育園などが臨時休業などになった場合、親への休業支援として、「小学校休業等対応助成金制度」がある。対象者は非常に多いと思われるが、事業主の申請のため、活用が進んでいない。市が活用推進を行うべきと思うがどうか。

A 当制度については手続き方法などが浸透していないため、事業所などに対し広く周知を行ったところである。

Q 国の事業復活支援金制度は、売り上げ30%減以上の事業者が対象だが、頑張ってきた事業者は30%減までいかないところも多い。市の独自支援を検討すべきと思うがどうか。

A 市としてはこれまでも支援策を行ってきたが、今回は全事業者を対象にした「プレミアム付き」はまだ応援「チケット」発行で支援を行う。



## 貧困をなくそう

### 扶養照会は義務履行が期待できる場合に行う



小川 稔宏

- Q** コロナ禍で生活保護率が上がらない背景に、申請時の扶養照会が壁になっていると言われている。市の対応状況を問う。
- A** 要保護者が扶養照会を拒んでいる場合は理由を聞き取り、「扶養義務履行が期待できない」と判断した場合は扶養義務者へ扶養照会を行わない。
- Q** 「拒む場合」ではなく、事前に「扶養照会は扶養義務の履行が期待できると判断される者に対して行う」という厚生労働省事務連絡の趣旨を明記し周知すべきではないか。
- A** 相談に来られた時には説明しているが、扶養照会が心配で申請できないということがないよう、生活保護のしおりやホームページの生活保護案内ページに追記したい。



## すべての人に健康と福祉を

### 少子高齢化に向き合う浜田市独自の政策を！



足立 豪

- Q** 浜田市における、家族介護用品支給事業の利用状況は支給要件変更のために利用件数は減少。制度改正の理由は？
- A** この事業は現在地域支援事業の対象外となっており廃止に向けて今年度より事業縮小している。
- Q** 高齢者の安心のために、も一般財源での継続を。
- A** 可能な限り検討する。
- Q** 保育園やこども園の定員、人員配置不足は？
- A** 定員に達していない施設は15施設ある。人員配置数は、国の基準を下回る施設はない。
- Q** 未就学児は月齢によって違いが大きい。多様性のある子どもたちにも対応できるよう、今後は浜田市独自の配置基準（ゼロ歳児で保育士2人）もぜひ検討してほしい。

### 高齢者などの移動にあいのりタクシー支援を



永見 利久

- Q** あいのりタクシーの今年度、新規取組団体は？
- A** 今年1月末時点で旭地区と三隅地区二つの地区まちづくり推進委員会が取組まれている。
- Q** 取組まれている運行計画を問う。
- A** 2団体は、健康づくりウォーキングと地域学習を目的として出掛けたものや、高齢者の買い物支援として、それぞれ試行的に実施された。
- Q** 新年度取組検討団体の状況を問う。
- A** 現在、地区まちづくり委員会の10団体が実施に向け、検討されている。
- Q** 取組検討団体への支援策について問う。
- A** 具体的な実施例などを示したマニュアルや資料を作成し、導入に向けた働き掛けを行う。



## ジェンダー平等を実現しよう

### 女性が活躍できる環境づくりを



柳楽 真智子

- Q** 浜田市では浜田市男女共同参画推進条例が施行されているが、取組状況を問う。
- A** 男女共同参画推進計画を策定し、浜田女性ネットワークや浜田市男女共同参画研究会の活動支援や研修会を実施している。市役所内では女性管理職の登用や男性の育児参加の促進、男女共同参画の視点を取り入れた防災対策に努めている。
- Q** 役所内の男性の育児休暇などの取得が市内企業でも進むよう市から働き掛けていただきたい。
- A** 推進計画の重点目標に女性の職域拡大と管理職への登用の促進や、仕事と生活の調和の推進を掲げている。商工会議所などと連携し、市内企業へ働き掛けを行いたい。



## 質の高い教育をみんなに

### 理数教育の充実には裏付けとなる予算を

- Q** 理科教育振興法に基づく小中学校の理科教育設備の整備状況は？
- A** 国の補助金を活用し、平成21年度に2800万円、25年度に1400万円をかけ、整備した。
- Q** 理科教育振興法により費用の半分は国の補助がある。市の方針として理数教育の充実を目指すのであれば国の補助を受けて毎年整備をしていくべきではないか？
- A** 学校現場と調整しながら令和4年度から準備をして5年度からは行えるよう早急に検討したい。
- Q** 備品管理などにおける理科教員の負担軽減に向け学校支援員の活用は？
- A** 授業準備などを業務とするスクールサポートスタッフは活用可能。全校への配置も検討したい。



大谷 学

### 子どもたちのために幼児教育の環境整備を！

- Q** 保育士の退職者の状況把握をしているか？
- A** 昨年度は定年退職を除き7名の退職があり、理由については園からの聞き取りで把握している。
- Q** 県の調査で、保育士の職場改善希望として賃金や労働環境の改善がある。現在もコロナ禍で頑張っておられる幼児教育施設従事者、特に保育士の働きやすい環境の整備が必要である。それが保育の質の向上、子どもたちへの育ちにつながる。働き方改革を市が推進してはどうか？
- A** 特に不足している保育士の環境の整備は必要である。結婚出産などで退職しても復職しやすい環境の整備、働き方改革を施設と一緒に市としても考えていきたい。



村武 まゆみ



## エネルギーをみんなに そしてクリーンに

### 浜田沖海底資源開発に期待！

- Q** 今後の資源エネルギー商用化成功の際の経済効果について市としてどのように考えているのか？
- A** 天然ガスの商業生産が事業化され、港に陸上受入基地の整備が実現すれば関連産業が新たに起こることも想定され、大いに期待している。
- しかしながら、陸上受入基地の整備はガス消費地を考慮して決まるものと思われるため、浜田市に限られるものではない。
- Q** 後ろ向きな答弁ではなく、浜田市が積極的に陸上受入基地の誘致活動をするべきではないのか？
- A** 今後も島根県とともにINPEXに対して、浜田港周辺用地を活用した受入基地の誘致活動を引き続き行う必要があると考えている。



肥後 孝俊

### 浜田沖、ガス田採掘にかける夢は。

- Q** INPEXが浜田駅裏に事務所を開設され、この3月から試掘開始と聞か、県と一緒に支援とは、どのようなものか？
- A** 事務所開設の世話、浜田港や萩・石見空港を利用した物資。人員の輸送などに支援をしてきた。
- Q** 新潟のガス田よりも埋蔵量が多い国産ガス田となれば、島根に新しい産業が興る起点となる。国・県はもちろん、全国市長会の副会長の立場を生かし、全国市長会の応援を仰ぎ、ぜひ浜田市へ基地誘致をすべきでは。
- A** 4年前の試掘以降、県とともに国会議員や経済産業省、国へ働き掛けてきた。その結果、国を含め330億円もの費用をかけて今回2度目の試掘となり、期待している。



牛尾 昭



## 働きがいも経済成長も

### 次世代の雇用を創るために必要なものは？

- Q** 当市は卒業後の地元就職率が低いことが課題であり、大きな雇用が見込める企業誘致は有効と考えるが、企業を誘致する上での課題とは？
- A** 働き手の確保と、用地となる土地の造成費用がかかることによる分譲価格が高いことが課題。
- Q** 当市の基幹産業である漁業の低迷もあり、核となる産業が見えてこないと感じるが？
- A** 漁業振興と農業も成長産業と捉え、農業法人も誘致した。今後も一次産業を核とした産業振興による雇用創出を図る。
- Q** 若者の地元就職率を上げていく取組は？
- A** 求人情報を発信すること以外にも、若者が暮らしやすいと感じることができると政策に取組む。



沖田 真治

### 産業振興策に「選択と集中」を

- Q** 浜田市の成長産業は？
- A** 市外に販路を拡大できる農林水産業や加工製造業など、外需型の産業。中でも振興作物でもある有機野菜。
- Q** 有機農業の推進目標は？
- A** 現在耕作面積は40畝。5年後に60畝への拡大を目指す。
- Q** 新規就農者の資金調達を支援できるような基金創設を検討してはどうか。
- A** 財源はふるさと寄附。
- A** 浜田として有機農業を推進する姿勢を示す良い取組である。研究する。
- Q** 選択と集中による成長戦略を。
- A** 一緒に取組めないかと企業からの相談もある。浜田市を有機農業のメッカにしたい。港を持つ立地も併せて、地域の成長を描けると考える。



三浦 大紀



## 産業と技術革新の基盤をつくろう

### 物流都市を目指すため物流団地整備は必要！

- Q** 5年後には山陰高速道の全通、浜田商港の5万トンバス完成予定。さらに浜田沖天然ガス試掘も進みつつあり、「港湾+高速体系+スマート物流拠点」を活用した最先端の物流都市を目指すことが可能と考える。そのために、浜田IC付近に位置する「石中央物流団地」を拡張し、人工知能を導入したスマート物流団地造成を支援し、強力な物流都市を目指すつもりはなにか見解を聞きたい。
- A** 今後、物流拠点としての可能性はさらに広がっていくと考える。団地拡張・整備の必要性は認識している。市として進出企業のニーズを把握し、必要性があると判断できれば、率先して推進していく。



川神 裕司

### コロナ禍に長期的視野に立った支援を



コロナ対策を講じる飲食店

- Q** 感染症パンデミックと経済のかく乱は、コロナ恐慌である。国や県、市の長期的な視野に立った支援が必要と思うが？
- A** 国や県の支援策を補完しながら、市の地域特性に応じたさまざまな支援策を途切れなく実施してきた。コロナ禍は当分続くことから、さらに感染症関連の浜田支援策第11弾で「浜田応援チケット」を柱に、対象を全事業種に広げ、プレミアム率を上げるなど必要な支援を迅速に講じる。



岡本 正友

## 住み続けられるまちづくりを

### 「社会教育の手法」を生かしたまちづくり

**Q** 島根県事業「小さな拠点づくり」を進めるステップは？

**A** ①話し合う②現状課題を共有する（計画策定）。③実践活動に取組む。

**Q** 「社会教育の手法を生かす」とは？

**A** これまで公民館が担ってきた「集つ」「学ぶ」「つながる」ことを通して、その地域の将来像の実現に関わる「人づくり」について、引き続きまちづくりセンターにおいても取組を進めること。

**Q** 浜田市における「地域自治の強化」とは？

**A** 市民一人一人がまちづくりに参画し、地域の個性を生かした特色あるまちづくりを進め、各地域における住民の主體的な「地域自治の強化」を図られるものと考えている。



村木 勝也

### 「元気な浜田づくり」今後の戦略は？

**Q** 市長の過去8年間の「元気な浜田づくり」取組の自己評価を問う。

**A** 農業法人の誘致、ふるさと寄附100億円、敬老福祉乗車券、子ども医療費の助成拡大などの施策を行ったが、人口減少、特に出生数減少に歯止めが掛けられなかった。

**Q** 若者の雇用の場確保、企業誘致の実績と今後の取組を問う。

**A** 7社100人の雇用を生み、今後は特に「若者対策」に力を入れる。

**Q** 国は、農林水産物の輸出8兆円を目指す。今8割がコンテナによる海上輸送。浜田港の現状は？

**A** 浜田港の農林水産物の輸出実績は、令和2年度が木材3億2千万円、冷凍魚6500万円。今後、連携し拡大を目指す。



上野 茂

### 地域が動く 協働のまちづくり態勢をつくれ

**Q** まちづくり委員会、まちづくりセンター、コーディネーターの役割、指揮命令系統はどうか。

**A** センター長は協働のまちづくり、社会教育を担い、コーディネーターはセンター事業やまちづくり委員会活動を支援する。

**Q** 自治会費などの位置付け、総合交付金などまちづくり委員会の財政基盤をどう確立するのか。

**A** 自治会費などは自主財源とし、まちづくり総合交付金により、財政基盤確立の支援をしたい。

**Q** 各課に置く協働推進員の役割、取りまとめはどのようにするのか。

**A** 協働推進員は、各課での協働のまちづくり推進や職員の意識啓発を進め、全体の取りまとめは地域活動支援課が行う。



芦谷 英夫

## 気候変動に具体的な対策を

### BCP（事業継続計画）案について

**Q** BCP（事業継続計画）の素案の内容を市民に周知すべきと考えるが。

**A** BCPは災害時の市役所の業務の継続を示すもので、現在市民へ積極的な周知は行っていない。近年災害が増加しているため、精査後に周知を行い、行政維持について安心感を持ってもらう。

**Q** 災害発生時の取組は？

**A** 大規模災害発生時には応急業務や復旧が急激に増加する。市庁舎が被災することにより人的・物的資源が制限される。非常時においても、行政機能が維持するための事業継続計画である。

**Q** 浜田市は震災想定BCPだが、水害や感染症についての計画は？

**A** 現在の計画に水害・感染症を追記し整理する。



田畑 敬二

## 気候変動に具体的な対策を

### 一人も残さない緊急時の情報伝達手段を!

【A】次期防災情報システムの導入を検討し、令和4年度中に方針を決定する。現在は、防災無線の屋外子局、個別受信機、防災防犯メールが防災情報の伝達の中心となっているが、次期防災情報システムの導入に伴い、複数媒体に一斉配信することが可能となるため、従来の媒体に加え、ラインやツイッターなどのSNSを活用して、より多くの市民が防災情報取得することが可能となる。

【Q】地震や豪雨などの自然災害、人的災害、感染症災害など、予期しない災害がいつ起こってもおかしくない時代。緊急時の情報伝達手段について、今浜田市が考えている計画と実施までの期間について問う。



西田 清久

## 議会の広聴・広報活動について

市民の皆さまから市政及び議会に対するご意見をお伺いすること、また議会活動の状況報告を目的に、例年5月と10月に開催しておりました議会報告会（地域井戸端会）ですが、ここ2年は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、参集型及びワークショップ形式での同会開催は中止とさせていただいております。

令和3年度は、事前にお申し込みをいただき議場にてご意見を述べていただく「はまだ市民一日議会」、地域住民組織から推薦された方々が参加されている「地域協議会との意見交換会」、といった新たなやり方で広聴活動を行いました。市民の皆様には、ご理解ご協力をいただき改めてお礼申し上げます。

令和4年度も感染症対策を第一に考えるとともに、広聴機能の低下を招くことがないように、はまだ市民一日議会、地域協議会との意見交換会、はまだ議会だより読者アンケート、議長なんでもメールなど、昨年度の活動を基調にしながらも、内容を見直した上で、取り組むこととしました。

年4回、全戸配布しているはまだ議会だより、ウェブ版のはまだ議会だよりminiなどを用いながら、タイムリーな活動報告にも努めます。まだまだ、新型コロナウイルス感染症収束の兆しは見えませんが、広報・広聴活動については、常に改善策を検討してまいります。何卒ご理解いただきますようお願い申し上げます。



はまだ市民一日議会



地域協議会との意見交換会

第6回目の市民対談として、浜田市の振興作物である有機野菜を栽培されている小松原修さんにお話を伺いました。  
(インタビュアー：肥後 孝俊、村木 勝也)

## 住み続けられる地域を目指して、 地域で「わっしょい」

株式会社小松ファーム

代表取締役 小松原 修さん

### 浜田市の振興作物 有機野菜の可能性

——なぜ弥栄で有機農業に取組まれたのですか？

**小松原** 地元がとにかく好きで、ふと地域に目を向けると、昔はにぎやかだったのに人が減り、農地も荒れていく姿を見て、「このままだと寂しい。地域のために自分に何ができるか」と考えたら農業に行き着きました。正直、周りには反対もされましたが、若さと勢いと覚悟でスタート。今では家族や地域の方々とも一緒に取組んでいます。

当時、有機農業は浜田市内では珍しかったですが、都会ではすでに有機野菜ブームが始まりつつある感じでした。農業の

スタイルは多々ありますが、有機農業に取組む先輩が弥栄におられて、そこで研修をさせてもらいました。

私は「いわみ地方有機野菜の会」という、有機野菜の生産者が集まったグループに所属していますが、栽培方法や活用資材などについて生きた情報交換を定期的に行っています。こうした仲間がいるので、とても充実した環境で仕事ができます。

地域を活気づけたいし盛り上げたい。都会に出た方が、帰ってきて働ける地域であることを見せたいですね。



## 変化に柔軟に対応し 持続可能な農業スタイル

—— 農業を取り巻く現状はどうですか？

**小松原** 今は有機野菜を作れば売れるという時代ではありません。都市部近郊の産地との競争では物流コストの違いが大きいのしかかりますし、有機野菜の生産者が増えて野菜の単価も下がってきています。

—— 価値化が必要になってきますよね。

**小松原** そうですね。地方の人たちはPRが得意ではないんです、私を含めて（苦笑）。でも、今こうして10品目ぐらい生産・販売できていることは、それなりに市場で魅力があると感じてもらえているんだと思います。生産者が作りやすいもの

を作つて売るだけでなく、求められるものを作るという意識が必要だと思います。品目、数量、価格企業からは提案営業がされてきます。それに対して、知恵を絞つてどう対応できるか、企業努力が求められます。

—— 今度、売上が伸びている冷凍野菜用の野菜を初出荷したり、要望のあった品種を試験的に作付けしたりする予定です。

—— 新しいことへのチャレンジですね。



**小松原 修**（こまつばら おさむ）さん

浜田市出身。浜田商業高校卒業後、地元建設資材販売会社に就職。その後、農業者を志し、地元農業者の下で研修を受け独立。弥栄の豊かな自然環境を生かした農業を行う。

**小松原** はい。例えば、カット野菜の冷凍品。コンビニやスーパーで販売が伸び続けています。私は、コンビニに行くのが好きなんです。ビールを買いに行くだけでなく（笑）。あそこはアイデアのヒントで溢れていますよ。昔は冷凍食品に里芋なんか入っていなかったですが、今では入っています。この前まで売っていたけど、棚からなくなつたものとかもあるでしょう。そういうことを観察していると、市場の変化やニーズが読み取れます。

## 住み続けられる仕組みをつくる

—— 農家さんは休みがなく大変なお仕事というイメージですが、実際はどうですか？

**小松原** はい。探せば常にやることはあるんです。だけど、メリハリを付けて休む時には休むようにしています。勇気があるんですけれどね。法人化したのもそういう理由がある

ります。

世の中のライフスタイルも変わってきていますし、続けられる農業を確立して、次世代に伝えていきたいと思っています。農業ってどこでもできるよつて。

有機農業も一つの選択肢。集落営農組織であったり、兼業農家であった

り、さまざまなやり方があります。地域全体でバックアップできたらいいんですけど、人がいないとできないんですよ。

だから、地域に住み続けられる仕組みが必要ですよ。それができれば地域もにぎやかになりますよね。地域で「わっしょい」してきたいです。



# 委員会活動レポート

## 議会改革推進特別委員会

### 議会BCP策定に向け準備中

議会改革推進特別委員会では議会BCP（業務継続計画）の策定に向け準備を進めています。大規模災害や新型コロナウイルスなどが発生した場合でも市民の安全安心のために議会機能を維持し、迅速な復旧、復興を目指す必要があります。交通や電気・通信網の遮断等も想定し、災害時の議員の安否確認、被災状況の把握、議員の役割や行動基準、連絡体制や情報伝達方法、計画更新や非常時の訓練方法も決めておきます。

「大災害・感染症と議会」のテーマで開催された全国市議会議長会研究フォーラムをオンラインで全委員が視聴しました。4月14日には、議会BCP先進地である天津市議会の取組についてリモート視察を実施しました。その後、策定に向け作成スケジュールの検討を予定しています。

## 総務文教委員会

### 多様性社会についてヒアリング

グローバル化の中で、性別・年齢・国籍・人種・宗教・性的指向・障がいの有無など問わず、互いを尊重して多様性を生かす社会の構築に向けて、所管となる地域政策部へのヒアリングを3月23日に実施しました。ヒアリングでは、人権啓発や男女共同参画の計画策定の背景や、現在までの国・県・浜田市の動き、さらに他市町の状況や計画策定時の検討事項などについて聴取し、今後の議論の参考としました。

## 福祉環境委員会

### 安心社会実現へのアプローチ

現在のコロナ禍の中で、市民の生活は大きく変わってしまいました。その中で当委員会として、今後取組むテーマの候補として委員から提案された意見を集約して2点の課題を挙げています。1点目として、安心して暮らせるための柱でもある「健康寿命の延伸」。2点目は、全ての市民が暮らしやすい社会を目指すために「就労支援を含めた障がい者支援」。今後重点課題を絞り込んで取組みます。

New

## 協働のまちづくり推進特別委員会

### 新たな特別委員会を設置

協働のまちづくり推進特別委員会を設置しました。令和3年度から始まった、自治区制度の精神を引き継いだ新しいまちづくりの仕組み【協働のまちづくり】を掲げて、公民館がまちづくりセンターに替わったり、まちづくりコーディネーターが配置されたりと、市民活動の推進を図るためのサポート体制が充実しました。

こうした仕組みを根付かせるために、市民の皆さん、現場でサポートして下さる方々が求める機能がどういったものなのか、1年を経て見えてきた課題を検証しながら、議会目線で協議・提言していきます。

委員の定数は8人で、メンバーは以下の通りです。（◎：委員長、○副委員長）

◎西田 清久、○上野 茂、村木 勝也、  
村武 まゆみ、柳楽 真智子、岡本 正友、  
芦谷 英夫、川神 裕司

## 産業建設委員会

### 一次産業活性化をテーマに

改選後、各委員から取組課題のテーマ選定の中で、一次産業の現状や課題などが挙げられました。また、過去に議会へも関係団体から林業・木材産業の活性化に関する要望書や農産物生産継続支援に関する要望書が出されています。当委員会では、人口減少が進む浜田市における一次産業の後継者不足対策として、就労者数や生産量を調査し、提言につなげたいと考えています。

# 読者アンケートはまだ議会だより

全ての「意見・ご要望」と回答はHP上で公開しています。



読者アンケートへのご協力、ありがとうございます。今回はVol.63とVol.64に寄せられたご意見・ご要望に対する回答を掲載します。

※紙面の都合上、一部のご意見・ご要望を要約して掲載しています。



## 改選を経て、今後4年間の議会活動に期待することは何ですか？



地元地域のことだけでなく未来の浜田の全体像をイメージし、市政に当たってもらいたい。おかしいと思うことがあれば、意見を明確にできる議会であってほしい。

市政運営のチェック役としての役割を果たし、皆様にお見せできるよう努めます。

(議会運営委員会)



浜田市はスポーツ宣言都市だが、スポーツ施設の老朽化が目立つ。未来ある子どもたちのためにも、既存の施設を生かし、廃止も検討しながら改革を進めてほしい。

スポーツを通じた地域振興は今後も図るべきだと考えます。施設整備はメリハリを持ちながら、利用される方々の満足度を高めていけるよう、働き掛けます。

(総務文教委員会)



## 大学のある町として、どのような取組が必要だと思いますか？



大学の先生の専門的な知見を取り入れた施策を。

現在も共同研究事業などに取組んでいますが、大学との連携は大変有効と考えます。引き続き推進されるよう努めます。

(総務文教委員会)



学生や10代20代の意見が政策に反映されるよう若者議会を作ったらどうか。若者たちを取組みたい事業を計画してもらい予算をつけることで浜田への関心が高まるのでは。

昨年度行ったはまだ市民一日議会には大学生も参加してくれました。その提案を受けて議会で早速、研修を行いました。ご提案の若者議会も参考にさせていただき、これからも若い世代の方々の声を拾い、議会活動に生かします。

(総務文教委員会)



## 自由意見



浜田市には若者や子ども用のお店が少ない。また遊具がたくさんある公園や施設など、子どもと一緒に遊べる場所を造ってほしい。子育て世代への支援をしてほしい。

●子育て世代の声を聴き、子育て支援の充実を求めて、昨年市長に要望書を提出しました。また、新しい浜田市子育て世代包括支援センターが4月からスタートしています。今後も子育てしやすい浜田市となるよう取組みます。

(福祉環境委員会)

●子どもと一緒に遊べる施設については、老朽化した遊具の更新や新たな増設などがなされています。地域住民の協力も得て、草刈や清掃などの環境整備がなされてきました。今後もニーズに対応できるよう検討します。

(産業建設委員会)

# はまだ議会だより Vol.65 読者アンケート

|   |    |
|---|----|
| お住まい  | 年齢 |
|   | 歳代 |
| Q1 今号で気になった記事はどれですか？その理由は？  |    |
| ①令和4年度注目事業（P2,3） ②市政を問う（P4～11） ③市民対談（P12,13）<br>④委員会活動レポート（P14） ⑤読者アンケート（P15,16） ⑥その他 |    |
| 理由（ ）   |    |
| Q2 自由意見（浜田市議会へのご意見やご要望などをお聞かせください）  |    |
|   |    |

最寄りのまちづくりセンターの回収箱へご投函ください。ウェブでの回答はこちらから。⇒  
集計の都合がありますので、5月末日までにご回答をお願いします。



キリトリ




## 6月 定例会議の 予定

6月15日（水）から開会です。  
個人一般質問は6月16日（木）から21日（火）までです。  
ぜひ傍聴にお越しください。  
※変更になる場合があります。

## はまだ議会だより miniも 見てね



4月1日の新年度第1号はご覧いただけましたでしょうか。浜田市議会HPにウェブ版として掲載しています。こちらのQRコードからぜひご覧ください。  
次号は6月1日に発行予定です。  
今年度も広報機能をより強化していけるよう、取組を検討しています。ご期待ください。

### 表紙について

5月14日（土）から7月3日（日）、世界子ども美術館で開催される「すごろく世界旅行展」から、メキシコの児童が描いた絵を選びました。出かけにくい昨今、アートで世界旅行を楽しみましょう！

**議長なんでもメール**

議長や市議会に関するご意見・ご要望・ご提言などお気軽にお寄せください。



| 編集委員 |       |
|------|-------|
| 委員長  | 三浦 大紀 |
| 副委員長 | 村武まゆみ |
| 委員   | 肥後 孝俊 |
|      | 村木 勝也 |
|      | 大谷 真治 |
|      | 沖田 幾雄 |
|      | 川上 裕司 |
|      | 小野 稔  |
|      | 川野 裕  |
|      | 上野 裕  |
|      | 神野 裕  |

**あしがき**

浜田の海が一番美しい季節になり、浜田で暮らす幸せを感じています。

はまだ議会だよりで実施している読者アンケートの回答数が増えており、私たちも喜んでいます。いただいたアンケートは議員全員で目を通し、各委員会ですべてに協議させていただきます。返答させていただきます。今年度初めて開催した「はまだ市民一日議会」を今年度も実施する予定です。市民の皆様のお声を聞いていくことにしっかりと取り組めます。

より身近な浜田市議会になるよう頑張ります。  
(記 村武まゆみ)

★この議会だよりは一部あたり37・07円(税込)です。